

自進 3 学年通信

第2号



平成30年7月 17日発行
福岡県立久留米高等学校
校長 木本 和宏
第3学年主任 吉田 貞徳

「6月9日土曜日」

7組担任 湯地 匡浩

6月9日土曜日。散々天候に悩まされたのが嘘みたいな快晴。堂々とした入場行進。競技中のはじける笑顔。応援合戦の張りつめた空気とそれを引き裂く声。そして思い。ブロックを越え一つになった学校応援。成績発表でのあふれる涙。後輩へ思いをつないだ解団式。あっという間に一日が過ぎた。すばらしい一日だった。夢のような一日だった。しかし、そのたった一日のために費やされてきた時間はどれだけ膨大なものだっただろう。

昨年度の2月に実行委員長（西岡）、副実行委員長2名（渡辺、網代）、各ブロックのリーダー27名が決定した。一つの役割に多数の立候補があったため、演説をし、投票によって選ばれたリーダーたちは、様々な人の思いを背負っていることを感じ、やり遂げねばならぬと心に誓ったことだと思う。

30人のリーダーたちは今までにない体育祭を作り上げようと何度も「リーダー研修」を重ねた。朝から夕方まで話し合いをする日もあった。そうやって決定したスローガン「金宇燈 ～煌めけ、久高の瞬間（いま）～」には、先輩たちが作り上げてきた「伝統」を受け継ぎ、今までにない新しいものを取り入れていくという思いが込められている。そのスローガン通り、「110周年記念タオル」、新種目「減数分裂レー」、 「移動式玉入れ」といった企画が生まれた。しかし、決定までの道のりは平坦なものではなく、実行委員は何十枚にも及ぶ企画書を作り、会議のたびに案を練り直し、事前リハをし、また練り直して、ようやく実現することとなった。本格的に体育祭練習が始まる本番2週間前、「いよいよ練習が始まるね。」と言った私に実行委員たちが言った。「いや、先生、僕たちの中ではもう始まっています。やっとここまで来たか、と思っています。」と。彼らの苦勞と頼もしさを感じた。

体育祭全体練習が始まると毎日「リーダー会議」が行われる。各リーダーは当然ブロックの事が大切だが、体育祭全体の成功を常に念頭に置いて建設的な議論を進めてくれた。最初の競技である入場行進は順位が付き、得点が入るため、各ブロックで一体感や力強さを競う。その指導について、あるブロック長から「入場行進は久留米高校全体でやる競技だからブロックの枠を飛び越えてリーダーが指導したらどうか」という意見が出た。「体育祭全体の成功」を考えているからこそ言えることだと思う。それだけではない。1年生の応援団が決まらないとき、団長、副団長は「練習を工夫して本番には間に合わせます。」と言ってくれた。また、学校応援の人文字パネルの作成計画提示が遅くなってしまい、あるブロックだけ作業が大幅に遅れてしまった。すると、作業が終わっている他のブロックの係が時間ぎりぎりまで手伝ってくれた。常に「どうすればうまくいくか」を考え、取り組んでくれた生徒の力に、私は感動するばかりだった。

6月9日土曜日。このたった一日のために費やされてきた時間は決して楽しいものばかりではなかったと思う。でも、今、皆が思い出すことはうまくいったことよりも、苦勞したことや悩んだことではないだろうか。それこそ、君たちがこれから生きていく為の糧になる。詩人である坂村真民の詩に「苦がその人を鍛え上げる 磨き上げる 本ものにする」というものがある。これを経験した人が、実感した人が、そして本ものになった人が一人でも多くいることを願っている。

最後に、3年生の諸君。かけがえのない時間を本当にありがとう。

「体育祭の経験を力に～努力を成長につなげる～」

3組担任 寺崎 慎

6月9日、演技や競技をする君達を最も近いところで見ることができて私はとても幸せでした。君達の顔はとても充実感にあふれており、教室では見られない、素晴らしいものでした。生徒各々の想いがつながって、とても素晴らしい体育祭になったと思います。本当に君達は煌めいていましたよ。感動をありがとう。

ただ、こうして最後の最後に、みんなで感動を分かち合えるだけの境地に達することが出来るまで、君達は、大きな苦勞や悩みを抱えていたはずで、また精神的なものだけでなく、2週間の体育祭練習中には肉体的な疲勞も相当なものだったと思います。これらの苦しみに君達は耐え、自分なりに消化しながら、そして成長し、体育祭を成功させました。その「道のり」こそが、私が君達にこれから大切にしてほしいものです。

「やるからにはてっぺんを目指す」、これはメジャーリーグで活躍する大谷翔平選手の言葉です。6月9日まで君達はそれぞれの「てっぺん」を目指して頑張りました。思い通りになったことばかりではないだろうけど、その過程で一人ひとり、頂上に近づいたのは確かです。必死に山を登っているときは前の崖しか見えず苦しいものかもしれませんが、途中でふと後ろを振り返ってみると、スタート地点が遠く足元に見えるような感覚でしょうか。

こうした感覚をぜひ君たちに「これから」味わってほしいと私は思います。つまり、高校を卒業したあと、自分はどうなりたいかという目標＝「てっぺん」をしっかり定めて、そこに近づいて欲しいのです。こうした意味で、目標は高い方がよいと思います。これはただ闇雲に、口先だけで言う目標ではありません。今の自分の現状をしっかりと把握し、自分の出来る限りの準備と努力を重ねれば、到達できる目標です。ここを低く設定すればするほど、自分に甘えが出てきます。高ければ高いほど最後に努力した者のみ分かる境地に達するに違いありません。

最後に自分の話をします。私も高校3年時に「行きたい大学」が見つかりました。周囲からも、先生からもかなり厳しいと言われた大学でした。自分ではそこに向かって努力したつもりです。しかしながら結果は出ず。正直「ここでもいいか」と思った大学に行きました。ただ努力の日々があったからこそ、大学生活はとても有意義なものでした。3年1学期までの成績を考えた時、もしかしたら高い目標を立てず漠然とやっていたら、「ここでもいいか」の大学も行けなかったかもしれません。その意味では私は、登頂には失敗したけども、その「道のり」で眼下の素晴らしい景色を見た一人なのです。君達にも「体育祭」での成長体験を生かして、これから努力を重ねて欲しいと願います。頑張れ！！久高生！！

夏季休業中から10月までの学校行事

7月23日（月）～7月30日（月）	前期夏課外
7月31日（火）～8月4日（土）	3年勉強合宿
8月18日（土）19日（日）	全統マーク模試
8月20日（月）～8月24日（金）	後期夏課外
8月27日（月）	2学期始業式
8月30日（木）	クラスマッチ
9月1日（土）	久セミ
9月4日（火）	センター試験出願説明会
9月16日（日）17日（月）	進研マーク模試
10月2日（火）～4日（木）	中間考査
10月6日（土）	110周年創立記念式典
10月7日（日）	英検1次
10月13日（土）14日（日）	進研記述模試
10月27日（土）28日（日）	進研マーク模試

